

令和7年度\_中郡小教育についてのアンケート 後期結果

「中郡小」の教育アンケートに御協力くださり、ありがとうございました。結果は以下の通りです。いただいた御意見を真摯に受け止め、今後の教育活動の充実に努めていきます。

※ 数値は、各項目について【そう思う、まあそう思う】と回答した人数の割合(%)です。

学校教育目標「ともに輝き合う ～かかわりの中で 自分を磨く子～」		児童		保護者		教員	
		R7 前期	R7 後期	R7 前期	R7 後期	R7 前期	R7 後期
<b>教育活動全体</b>							
1	将来の夢や目標をもっている	85	83	64	64	96	96
2	楽しく学校生活を送っている	91	95	89	92	99	99
<b>学び合い(確かな学力) 進んで考えかかわり合い、粘り強く学び続ける</b>							
3	課題に対して、自分なりに粘り強く取り組むことができる	83	88	70	71	68	78
4	自分の考えや思いを、言葉で伝えたりノートやタブレットでまとめたりすることができる	84	82	72	72	65	74
5	学習でタブレットをPCを使うと、学びが充実する	83	86	69	76	77	77
6	分かったことや、もっと考えたいこと、気付いたことや友達から学んだことなど、振り返りにまとめることができる。	83	83	67	68	74	78
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 設問2「楽しく学校生活を送っている」では、肯定的な回答が多く寄せられました。前期と比較しても、児童・保護者ともに数値が向上しており、子供たちが安心して通える学校づくりが進んでいることを大変嬉しく思います。さらに、一人一人の子供たちのニーズに合わせた「学びの楽しさ」が展開できるよう、教育の充実を図りたいと考えています。</li> <li>・ 設問5に関連する教育の「ICT 活用」については、保護者の皆様の回答が69%から76%へと大きく上昇しました。ご家庭の理解や協力を得て、家庭学習でもタブレットの活用が定着し、学習効果が実感され始めていると捉えています。今後は、情報モラルの徹底やタブレット活用における約束を見直し、安心して活用できる環境を整えていきたいと考えています。</li> </ul>							
<b>認め合い(豊かな心) 自分や友達を理解し、温かくかかわる</b>							
7	自分や友達の良いところを見つけている	88	90	89	89	89	91
8	自分から挨拶したり、挨拶されたら返したりすることができる	91	90	84	86	74	74
9	きれいな言葉や温かな言葉を使うことができる	85	84	73	73	68	61
10	きまりや約束を守り、安全に生活している	90	91	89	86	90	74
11	困ったときには、ヘルプを出すことができる	85	82	87	87	94	91
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 認め合いの項目では、友達とのかかわりやふれあいを通して、自分や友達を理解する心が育まれていることが、設問7より感じられます。「BE A HERO」の取組を通して、さらなる心の豊かさを実現できたらと考えます。</li> <li>・ 一方、「言葉遣い」や「安全ときまりの遵守」に関して、児童・保護者と教員の評価に差が見られ、数値も下がった項目が見られます。この結果は、前期より高い目標を掲げたことで見えてきた新たな課題であり、教員から児童への期待が込めた評価でもあると分析しています。しかし、廊下歩行やマナーやルールの徹底は、安心して生活する基盤となりますので、引き続き指導徹底に努めてまいります。「言葉遣い」については、学校や家庭における温かみのある会話が基盤となります。学校と家庭が連携して環境を整えていきたいと思います。</li> </ul>							

きたえ合い(健やかな体) 自分自身と向き合い、多様なかわりの中で健康づくりに励む							
12	早ね早起きをし、朝ご飯を食べている	88	85	92	90	87	91
13	外遊びやスポーツなどをして、身体を動かすことを好んでいる	83	81	78	79	81	70
<p>「早ね早起き・朝ご飯」など、基本的な生活習慣は、調査するタイミングにより数値の変動が大きく、今回の結果では、児童・保護者において数ポイントですが低下しました。しかし、学校給食では「食の充実」を図り、保健指導においても健康な生活を意識することで、発達段階に合わせた生活リズムが整っていると実感します。ご家庭においても、特に「早起き」を意識することで、一日のリズムをつくり、健やかな体を築けるようにご協力いただけますようよろしくお願いいたします。</p>							
コミュニティ・スクール ～学校・地域・家庭の連携～							
14	ハートフルだより(中郡小コミュニティ・スクール通信)を読んだり、中郡小のホームページを見たり、読んだりしたことがある			59	63	71	78
15	地域の人と一緒に勉強や活動をするのは楽しい	83	81	65	65	94	96
<p>1月に行った「防災体験学習」では、多くの地域・保護者ボランティアの方がご支援くださり、大変充実した取組になりました。この取組は、学校運営協議会で話し合いを進め、災害が起きても児童が「自分の命を自分で守る」ことができる力を育めるよう、活動内容を決めました。日頃より地域とのつながりが強い中郡小だからこそ実現できた取組だと感じます。設問14の結果でも、便りやホームページでも活動を広く紹介し、より身近に感じる学校づくりを目指していきたいと思えます。</p>							

### 【自由記述でいただいた御意見】

- にこにこクラブで、地域の方や他学年の友達など、年齢を問わず楽しくすごせるようになって、とても喜んでいます。これからも続けてほしいです。
- 集団登校やなかよし清掃など、全学年で協力する場があってよいと思う。
- 地域の方と交流が多いのは、とても良い活動だと思います。ボランティアとして保護者が参加できる活動が多いのもありがたいです。

保護者の方も地域の方も、学校の教育活動へ多くの方が御参加くださり、全学年においてボランティアの皆様による支援をいただくことができました。また、「にこにこクラブ(放課後子供教室)」には、回を重ねるごとに参加者も増え、毎回、70名を超える児童が利用しています。こちらにも、多くのボランティアの方が御協力くださり、安心できる環境を整えることができている。

来年度も、異学年交流や地域の皆様とのつながりを深めることで、子供たちの安心感を高め、豊かな人間関係の基盤を育てていきたいと考えています。

- タブレットを毎日、持ち帰ってきていますが、長時間タブレットを使用することが増えて、心配しています。
- 家から遠いので、タブレットが重くて大変そうです。
- 家庭学習でもタブレットを多く使用しているので、約束を確認したいです。

浜松市は「第4次浜松市教育総合計画」において、「情報活用能力の育成」を掲げ、ICT 機器の日常的な活用や情報モラルの意識向上を目指しています。その政策を踏まえ、中郡小においても一人一台端末を有効に活用し、情報活用の実践力や、自分に合った学びの支援において活用を進めています。

ご意見の中には、健康面への心配もあり、今後も視力の低下を防いだり、使う際の姿勢に配慮したりする指導を徹底していきたいと考えています。また、情報モラル教育においては、子供たちの実態に合わせた内容で児童(全学年)・保護者対象で実施し、SNS の使い方や個人情報の守り方について、学校と家庭のそれぞれで指導や見届けを行っていききたいと考えています。

荷物の重さへの対応として、学校で教科書等を個人ケースで保管し、少しでも登下校中の負担が少なくなるようにしています。今後も、学年の実態に合わせて荷物を少なくするように考えていきます。